

V 業務情報化の推進

昨年度に作成した研究所の次期情報システム基本構想での仕様に基づき、入札を実施し、平成15年12月より新たなハードウェア、ソフトウェアによる情報システムの稼働を開始した。新システムの導入により、サーバー、クライアント・パソコンの基本性能が向上すると共に、外部からの不正アクセス、コンピュータ・ウイルスなどを防ぐためのセキュリティ対策も強化された。また、従来のコピー機からプリンター機能とコピー機能を併せ持つ複合機に更新し、かつ、研究所ネットワークシステムに接続することにより、効率的な高速印刷処理環境を実現した。その他、海外に派遣されている職員等に対応したリモート・アクセス環境を整備した。

(1) 研究所情報システムの機能強化

新情報システムでは、業務用サーバー、クライアント・パソコンの機能強化、セキュリティ対策の強化のみならず、統計処理アプリケーションを高速に実行できるワークステーション、更にLinuxに対応した統計処理サーバーを新たに導入し、研究活動環境を向上させた。

(2) コンピュータ研修の実施

新入職員、本部等から異動のあった職員を対象とした研究所の情報システムの利用に関する講習、及び研究所全職員を対象に、新システム導入後、新OSに対応したクライアント・パソコンの効果的な使い方を中心とした講習を実施した。

更に、研究所の新情報システムの運用管理上、不可欠な技術を習得するため、担当職員がシステム運用管理者向け外部研修に参加した。

(3) 業務管理用システムの技術支援

研究所人事システムと本部人事システムとのネットワーク接続に関して、研究人材課をサポートした。現地調査システムについては、引き続き研究企画部をサポートし、利便性の向上を図った。また、新システムの導入と合わせて、現地調査システムも新サーバーへの移行を行った。

(4) 成果普及活動のサポート

研究所の成果普及活動を促進するため、ホームページによる情報発信の迅速化、多様化に必要な新たなホームページ作成用ソフトウェアの導入、及び、研究所出版物の販売強化を支援するた

め、新たな出版物在庫・販売システムの導入サポートを行った。また、大規模会場での講演会等に対応した高性能液晶プロジェクターを導入した。

(5) 図書館システムのサポート

図書館システムを安定稼働させるための技術協力、支援、及び図書館が推進するデジタルライブラリー構築計画に参画し、図書館利用サービスの向上に協力した。

(6) データ整備・保存

研究所が保有する貿易統計データなどの貴重な情報資源を長期的な保存に耐えられるように、カートリッジ・テープからCDへのメディア変換作業を行った。